

平成31年度入学 一般選抜後期日程
外国語(英語) 講評

第1問

【出題のねらい】

専門的な語彙が含まれている文章の大意を掴んだ上で、文の構造、文法、語法、単語を理解し、内容を把握する力をみることをねらった。

【講評】

全体の正答率は3割程度だった。全6問中4問(2, 3, 4, 6)が記述問題だったため、正答率が低かった。

問1

構文、文法、前置詞、副詞、接続詞、単語などに関する問題である。前後の文脈から解答を推測することができるため、基本的な文法を確認しておくことが望ましい。

問2

下線部 *That fat* が文の主語の位置にあり、指示形容詞 *That* の次に来ていることから、この *fat* が形容詞でなく名詞であることをすぐに理解してもらいたい。このことが理解できれば、前文の *much fat* とつながりがあることも分かるはずであるが、実際には、ここでの *fat* という単語の品詞や意味を理解していない受験者が多くみられた。英単語を覚える際には(特に *fat* のような複数の品詞で用いられる基本語については)訳語を一つだけ覚えるのではなく、複数の重要な意味も併せて覚えておくことが望ましい。

問3

段落の指定がなかったため、全体の内容から判断した解答が散見された。また、利点1と2を組み合わせた解答もみられ、4段落最後の文の内容(飛行機やトラックにも使用可能)まで含めた解答もあった。

問4

non-fossil-fuels を「化石燃料を使わない」とする誤答が多くみられた。本来は「化石燃料以外の燃料」であるところを、「燃料」だと見抜けなかったことが原因だと思われる。また、*investment* を「調査」や「開発」という意味にとっている誤答も多かった。さらに、正答が「エリクソン社がどれだけ気候に対するダメージについて知っているか」である一方、「どれだけ多くの会

社が～を知っているか」とするなど、how much the company を how many companies のように解釈している誤答も多かった。

問5

代名詞が何を指しているかを把握する力をみることをねらった。前の文から代名詞 they に相当するものが何かを適切に見つける必要がある。What effects の部分が正解であるが、何の影響なのかも読み取る必要があるため、難易度は高かったようだ。日頃から、代名詞が何を指しているのかに気を付けながら読解する力を身につけておくことが望ましい。

問6

Couple hundred years を「数百年」ではなく、「200 年」という意味にとっている誤答が多かった。また、trap を「罠」と訳している誤答も散見された。brakes on の部分を break と混同し、「壊す」という意味にとっている誤答も見られた。全体的には、本文に即し、Fetzer 氏の考えを述べるのではなく、受験者の個人的な考えや一般的な事実や背景を記述している解答が散見された。

第2問

【出題のねらい】

文章を読み、内容を正確に把握する力をみることをねらった。問1から問4までは、文章中の特定の部分に関する理解を問うた。問5はタイトルを考えさせる形で文章全体のテーマに関する理解を問うた。

【講評】

4割程度の正答率であった。長文の流れを掴みながらも、細かい箇所まで読み解くことが求められる。問1、問5は正答率が高かったが、問2、問3、問4については正答率が低かった。細部までの正しい読解が不足している解答が目立った。

第3問

【出題のねらい】

英語の会話文を読み、それぞれの状況において、適当な英語で表現をする力をみることをねらった。その上で、その場にふさわしい単語や表現を用いて会話を作成できるかを問うた。

【講評】

多くの受験者が、Mrs. Deminie が Elena に対して怒っていると勘違いしている解答をしており、2人の会話の流れをきちんと理解できていない解答が散見された。また、前後関係をよく

読み、本文のヒントを活用することができていない解答も多くみられた。例えば、⑥では、Yes, I did.という解答が多くみられたが、これは、最も重要な質問である What did she say? の解答にはならない。

第4問

【出題のねらい】

英語の会話文を読み、会話の流れを掴むことができるかをみることをねらった。その上で、流れにふさわしい発話を選べるかを問うた。

【講評】

全体の正答率は7割強だった。特に、問1の①が正答「F」のところを「C」としている解答が散見された。日頃から多くの会話文を読み、話の流れを掴む練習や会話的な英語表現の練習をしておくことが望ましい。

第5問

【出題のねらい】

本問題は、提示されている条件に従い、題目に関して自身の意見を良い影響・悪い影響に分けて英語で述べることをみることをねらった。

【講評】

全体の正答率は4割程度だった。全体的に、動詞と名詞の使用の間違いやスペルミス、them/theirなどの代名詞の間違い、in the world/around the worldの使用の間違い、複数形のsや冠詞の脱落、冠詞や仮定法の間違いが散見された。内容に関しては、条件を無視した解答や、5文以下で記述している解答などが散見された。提示された条件をしっかりと読み、理解した上で解答してほしい。